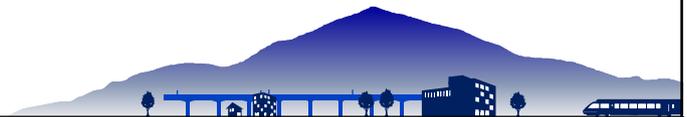


伊勢原市長定例記者会見

令和7年11月25日(火) 午後2時～ 2C会議室



祝ドラフト1位指名 (埼玉西武ライオンズ)
伊勢原市出身 小島大河選手
(明治大学)



次第

市長発表

1. 「申請書自動作成システム」を設置
～手書き負担を軽減し、窓口時間の短縮に貢献～
2. 「資源プラスチック」の分別収集を令和8年4月から開始
3. 江戸庶民の「大山詣り」をまるごと体験！
日本遺産事業として企業向けのツアーを初開催

イベント

- ・文化財防災講演会
文化財を災害から守るには…？
- ・伊勢原市人権啓発講演会
知ってほしい「本当の声」～児童虐待と社会的養護のこと～
- ・年末年始に開催される地域のイベント・観光情報

「申請書自動作成システム」を設置

～手書き負担を軽減し、窓口時間の短縮に貢献～ (1/2)

市役所における窓口での滞在時間短縮等を進めるため、マイナンバーカード等の本人確認書類を利用して、「氏名」「住所」「生年月日」「性別」の基本4情報を申請書等に自動転記する「**申請書自動作成システム**」を設置します。

令和5年度、バックヤードにおいてトライアルを実施した際には、マイナンバーの手続きに必要な申請書の必要事項を手書きする負担が軽減されたほか、手続き時間が約20%短縮されるなどの効果が見られたことから、本格導入に至りました。

本システムの設置により、「市民の利便性向上」「職員の事務効率向上」、双方へのメリットが期待できます。

設置日 12月10日(水) ※予定

設置場所、対応帳票

・マイナンバーカード交付窓口(市役所1階)

電子証明書(署名用・利用者証明用)の更新申請書、暗証番号変更申請書など(5帳票)

・戸籍住民課受付窓口(市役所1階)

住民票・戸籍証明・印鑑登録証明書などの証明書請求書、印鑑登録・廃止・切替等申請書(2帳票)

設置台数 各1台

「申請書自動作成システム」を設置

～手書き負担を軽減し、窓口時間の短縮に貢献～ (2/2)

本人確認書類

- ・マイナンバーカード
- ・運転免許証、運転経歴証明書
- ・在留カード
- ・特別永住者証明書

期待される効果

- ・手書き負担の軽減
- ・所要時間の短縮(約20%短縮)
- ・混雑の緩和
- ・担当職員の記載ミス防止、確認作業の負担軽減



設置予定の機器のイメージ



【参考】

マイナンバーカード保有率(令和7年10月末時点)

伊勢原市	79.6%
神奈川県	79.5%
全国	79.9%

【お問合せ】戸籍住民課 電話 0463-94-4713

「資源プラスチック」の分別収集を令和8年4月から開始 ～製品プラスチックは「ごみ」から「資源」へ～ (1/2)

担当:清掃リサイクル課

現在、地球温暖化や海洋プラスチックごみによる環境問題などが課題となっており、プラスチックのリサイクルの重要性が一層高まっています。

市ではプラスチック類の資源化促進のため、従来の収集品目である「容器包装プラスチック」に、現在は燃やすごみとして処理している「製品プラスチック」を加えた**資源プラスチック(容器包装プラスチック+製品プラスチック)**の分別収集を開始します。

今年7月にモデル事業として、4自治会を対象に排出量や異物の割合、意識調査などを行い、課題や対策などを検証したうえで、全市的に展開するものです。

開始日 令和8年4月1日

収集対象となる「資源プラスチック」

・容器包装プラスチック

プラスチック製で商品を入れてあったもの(容器)や包んであったもの(包装)

・製品プラスチック

- ① 100%プラスチックのみでできているもの
- ② 1番長い辺が50cm未満のもの(広げた場合を含む)
- ③ 厚さが5mm未満のもの
- ④ 汚れていないもの



「資源プラスチック」の分別収集を令和8年4月から開始 ～製品プラスチックは「ごみ」から「資源」へ～ (2/2)

担当:清掃リサイクル課

収集対象となる「資源プラスチック」

・容器包装プラスチック

プラスチック製で商品を入れてあったもの(容器)、包んであったもの(包装)

【例】コンビニ弁当の容器・シャンプーの容器 など
※プラマークのあるもの

・製品プラスチック

- ① 100%プラスチックのみでできているもの
- ② 1番長い辺が50cm未満のもの(広げた場合を含む)
- ③ 厚さが5mm未満のもの
- ④ 汚れていないもの

【例】プラスチック製のフォーク・スプーン、タッパーなどの食品用容器、バケツ、ハンガー など



新たに収集対象となる製品プラスチック(写真)



※容器包装プラスチックと製品プラスチックを
同じ袋に入れて出す

【お問合せ】清掃リサイクル課 電話 0463-94-7502

江戸庶民の「大山詣り」をまるごと体験！ 日本遺産事業として企業向けのツアーを初開催（1/2）

担当：商工観光課

江戸庶民の信仰と行楽の地・大山で、江戸時代から続く「大山詣り」を追体験する地域交流体験型プログラム「マインドフルネス大山詣り」を実施します。

大山が「講」という団体旅行を受け入れてきたことから、市内や近隣の企業をターゲットに、大山詣りの体験によって本市の魅力を再発見していただくとともに、地域の現状や課題を把握し、地域への愛着や歴史・文化継承の機運を醸成することを目的としています。

日帰りまたは1泊2日にわたり、江戸庶民が行っていた「大山詣り」を再現し、その歴史を深く知ることができるプログラムを提供します。

実施日 12月16日(火)～12月17日(水)

内 容 1日目

- ・貸切バスで宿坊へ。滝行やトレッキング、大山阿夫利神社の正式参拝などを実施
- ・夜は、地元の酒蔵「吉川醸造」による利き酒体験を実施し、宿坊で一泊

2日目

- ・心を落ち着かせる浄書体験や、大山地区の散策
- ・バスで江の島へ。「江の島に立ち寄って江戸へ戻る」という、江戸庶民が行った定番の行程を再現

江戸庶民の「大山詣り」をまるごと体験！ 日本遺産事業として企業向けのツアーを初開催（2/2）

担当：商工観光課

文化庁モデル事業に採択

本ツアーは、各地域で実施する日本遺産事業を深化させることを目的に文化庁が定める「日本遺産を活用した魅力ある地域づくり推進モデル事業」に採択されたものです。

日本遺産ストーリーを中心に据えた、地域活性化・観光振興を図るため、地域の課題や特性、実情に応じて地域の魅力を高める「日本遺産魅力増進事業」に位置付けられ、ツアー商品の開発や、ポータルサイトの構築などが事業例として示されています。

本市では、企業型大山詣りツアーの企画・販売のほか、16のストーリーが採択されています。

今後の展望

- 民間事業者による様々な「大山詣り」ツアーの販売拡大
- 地域のファンを増やし、「大山詣り」の伝統を受け継いでいく機運を醸成
- 「大山詣り」の継承に必要な資金を調達するための「寄付制度」を整備

社員研修・MICE・教育旅行・団体旅行
ご担当者様向けモニターツアー

新居から1時間30分！地域を知り、自分自身を知る

地域交流体験型プログラム
マインドフルネス大山詣り
日帰りプランと1泊2日(宿坊)プラン
モニターツアー

2025年
12月16日(火) 出発

さらに大山詣りを深く体験できる宿泊体験プランの体験プランもご用意いたしました。

【5日】 12月16日 木：30新居町工業団地大ホール
【6日】 12月17日 土：30新居町工業団地大ホール
【7日】 12月17日 土：00新居町工業団地大ホール

【定員】20名 大人お一人様 日帰りプラン：6円
1泊2日プラン：6円

江戸庶民の信仰と行楽の地・大山で江戸から続く「大山詣り」を追体験

12月16日(火) 12月17日(水)

12月17日(水) 12月17日(水)

お問い合わせ
株式会社日本旅行東日本エージェンツ支店
福島/小田 眞子 MAIL: rmg.ishino@nts.co.jp
TEL: 020-3098-9661
営業時間 平日10:00-17:00

【お問合せ】 商工観光課 電話 0463-94-4729

【イベント情報】文化財防災講演会 文化財を災害から守るには…?

身近な文化財を災害から守るための知識を身に付けるための講演会です。

自然災害による文化財への被害は、本市でも数多く発生しています。かつて大山で関東大震災の際に発生した山津波では、多くの貴重な文化財が失われました。近年では、昨年8月の豪雨で日向薬師宝殿の屋根に雨漏りが発生し、複数の文化財が濡れてしまうなどの被害が生じています。

本講座は、文化財を所有する個人や社寺の関係者、行政担当者、一般市民などを対象に、大切な文化財を守るための備えや、災害発生時の初期対応などについて、実際の現場で行われている取組などを専門家から学びます。(参加無料、事前申込不要)

日時

11月29日(土) 午後1時30分～午後4時(午後1時開場)

場所

市民文化会館 小ホール(田中348)

講師

黄川田 翔 氏 (独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター)

主催

伊勢原市地域文化財保存活用協議会(会長:萩原市長)



関東大震災時の大山での山津波被害



宝城坊本堂の防災施設(放水銃)試運転

【お問合せ】教育総務課 文化財係 電話 0463-74-5109

【イベント情報】伊勢原市人権啓発講演会 知ってほしい「本当の声」～児童虐待と社会的養護のこと～

市民一人一人が人権に対する理解と認識を深め、差別や偏見のない、相互の人権を尊重しあえる地域社会をつくることを目的に、40年以上にわたって開催している事業です。毎年異なるテーマで、人権問題の当事者や有識者を講師に迎えています。

今年度のテーマは「**知ってほしい『本当の声』～児童虐待と社会的養護のこと～**」。乳児院、児童養護施設、自立援助ホームの出身者で、現在は児童養護施設出身者へ振袖を着る機会を提供し、「生まれてきてくれてありがとう」を伝えるボランティア団体「ACHAプロジェクト」代表の山本昌子氏を講師に迎え、自身の実体験を交え、児童虐待や社会的養護についてお話いただきます。

開催日時

12月9日(火)午後3時～5時

開催場所

市民文化会館 小ホール(田中348)

講師

山本 昌子 氏 (ボランティア団体「ACHAプロジェクト」代表、児童養護施設出身者)

主催

伊勢原市、伊勢原市教育委員会、伊勢原市人権擁護委員会



【お問合せ】人権・広聴相談課 電話 0463-94-4716

【イベント情報】年未年始に開催される地域のイベント・観光情報 (1/2)

※取材の可否等を含め、詳細は後日リリース予定

12月

すす払い 12月13日(土)

約5～6mの篠竹を使い、本殿の梁や天井などの1年のほこりを落とします。

場所:三之宮比々多神社(三ノ宮1472) ※午前7時～
大山阿夫利神社下社(大山12) ※午前中

星まつり 12月22日(月) 午後2時～

冬至の日に行われる伝統行事です。

正式名称は「星祭大護摩供修行開白」。来年の数え年の運勢が凶のときは厄を祓い、吉のときはより良い年になるようお祓いをします。

場所:大山寺(大山724)

師走大祓 茅の輪くぐり

半年間の罪や穢れを祓い清める「大祓」。

参拝者が神職に続いて「大祓詞」を読み、切麻を自分の身に撒いて清め、人形に息を吹きかけ、自分の体の弱い部分を人形で撫でて罪や穢れを移します。その後、境内に設けられた茅の輪をくぐります。

- ・12月20日(土)午後2時～ 三之宮比々多神社(三ノ宮1472)
- ・12月21日(日)午後2時～ 伊勢原大神宮(伊勢原3-8-1)
- ・12月28日(日)午後1時～ 大山阿夫利神社下社(大山12)



師走大祓 茅の輪くぐり(大山阿夫利神社下社)

【イベント情報】年未年始に開催される地域のイベント・観光情報 (2/2)

※取材の可否等を含め、詳細は後日リリース予定

1月

大山山頂からの初日の出

標高1,252mの大山山頂は、県内で最も早く初日の出を見ることができるスポットで、毎年多くの人を訪れます。

※日の出時間
午前6時45分ごろ



大山阿夫利神社下社からの初日の出

だるま市 令和8年1月2日(金)

午前10時～午後2時頃

初詣客でにぎわう境内で、県内からだるま店が集まり、縁起物の相州だるまが販売されます。購入された方には、祈願の掛け声とともに火打ち石を鳴らす「魂入れ」が行われます。

場所:伊勢原大神宮(伊勢原3-8-1)

筒粥神事 令和8年1月7日(水) 午前9時～午後4時

神職が古式に則った方法で煮た粥を竹筒ですくい、その年の農作物の作柄を占う、300年以上前から続く伝統神事です。

五穀、養蚕など18品目についての豊凶や、気象などを占います。かつて市内で栽培されていた「煙草」が品目に入っているのも特徴です。

場所:大山阿夫利神社下社(大山12)



初薬師 令和8年1月8日(木) 午前9時～午後4時

日本三薬師の一つである日向薬師で、年に5日しか拝観できない本尊が開帳されます。本尊の薬師如来像は平安時代の作で、表面にノミの彫り痕を意図的に残す「鉦彫り(なたぼり)」という特徴的な技法が用いられ、国重要文化財に指定されています。

午前11時30分ごろから、1年間の無病息災と身体健全を祈念し「薬師粥」が振る舞われる予定です。

場所:日向薬師(日向1644)

【お問合せ】 商工観光課 電話 0463-94-4729



ちらし

- ・地域交流体験型プログラム
「マインドフルネス大山詣り」
- ・文化財防災講演会
文化財を災害から守るには…？
- ・伊勢原市人権啓発講演会
知ってほしい「本当の声」～児童虐待と社会的養護のこと～

イベントカレンダー

- ・スポーツイベントカレンダー(12月)
- ・市立公民館講座等のお知らせ(12月)